司書課程・司書教諭課程行事報告

１．2010年度年間活動日誌

・2010．４．３　司書課程・司書教諭課程履修登録説明会（新入学生向け）（尋真館30等）（免許資格課程センター・免許資格係と共同）
・　４．29　図書館ガイダンス（尋真館地下１）
（全体会と分科会：公共・大学・学校・専門／国立各図書館・進学グループ）
ホームカミングデー（スピーチ：西尾恵一大阪府立図書館司書、中村保彦文教大学図書館司書）
・　６．15　公開講演会（臨光館201）
（山本順一桃山学院大学教授）
・　７．10　『同志社大学図書館学年報　第36号』、『同志社図書館情報学　第21号』刊
・　７月～10月　図書館実習館（25館）挨拶まわり（専任教員２名）（センター共同）
・　８．25～26　東京地区図書館見学会（中村引率）
（渋沢栄一記念財団実業史研究情報センター、国際こども図書館、福音館書店、国立国会図書館など）
・　９．10　「第62回近畿地区図書館学科協議会」（大阪芸術大学）宇治郷出席
・　11．１　両課程の来年度予算要求
・　12．８／11　課程登録（「図書館演習Ⅰ」「図書館演習Ⅱ」）説明会（センター共同）
・　12．17　新カリキュラム案の検討開始（免許資格係、宇治郷、原田）（翌２月まで）
・2011．１．19　博物館学課程・図書館学課程委員会（徳照館会議室）
（「法令改正に伴う課程認定に向けての新カリキュラム案について」報告）
・　３．26／29　対学生「図書館司書課程法令改正に伴う履修に関する説明会」（至誠館302等）
・　３．28　2010年度図書館司書課程・司書教諭課程講師懇談会（司書課程資料室）

２．司書課程・司書教諭課程行事報告

例年どおり、まずはGWに入ったばかりの2010年４月29日（木曜日／祝日）の午後、13：30から、図書館ガイダンス＆ホームカミングデーを開催した。60名ほどの学生さんが参加した。今年、講師をお引受けくださったのは、以下のご卒業生の方たちである。今年は、はじめの全体会のときに、各講師の方をご紹介し一言お話いただく際、それぞれのグループの講師の方たちから、グループの紹介というか、PRをしていただくというような形をとったところ、例年のように公共図書館グループに大半の学生さんがかたまるということがなく、各グループに参加者がばらけた。司書課程が公共図書館の専門的職員を養成しているということもあるかもしれないが、一般的に学生さんは公共図書館ばかりに関心が行きがちなのだな、しかし他の館種についても、ちょっとでも話を聞けば関心をもつ学生さんがいるのだなということを再確認した。今年も講師の方たちには、お休みの日にボランティアでおいでいただき、恐縮いたしました。ありがとうございました。

公共図書館グループ（Ｚ地下１）
　　西尾恵一氏：大阪府立中央図書館
　　竹内洋介氏：富山県立図書館
　　前田　笑氏：東近江市立八日市図書館
大学図書館グループ（Ｚ地下６）
　　小村愛美氏：大阪大学附属図書館総合図書館
　　中村　健氏：大阪市立大学学術情報総合センター
　　中村保彦氏：文教大学湘南図書館
学校図書館グループ（Ｚ地下４）
　　家城清美氏：同志社女子中学校・高等学校図書館
　　佐藤敬子氏：甲南高等学校・中学校図書館
専門図書館・国立国会図書館グループ（Ｚ地下２）
　　松田恵治氏：京都新聞社
　　依田紀久氏：国立国会図書館
　　宇治郷毅氏：同志社大学（元国立国会図書館副館長）
大学院進学グループ（司書課程資料室）
　　中島幸子氏：帝塚山大学准教授

16：20からは、ホームカミングデーのプログラムとして、今年は次のお二人のご卒業生の方から、30分ずつのご講演をいただいた。質疑応答も楽しく、ホームカミングデーが恒例行事となりそうな予感がした。

中村保彦氏「大学図書館の動向」

西尾恵一氏「変動する図書館の現場より」

18：00からは、例年通り「林」にて、懇親会を実施した。こちらも３階に入りきらないはずの人数が無理やり入った格好で、大いに盛り上がった。

６月15日（火）の18：25から19：55には、桃山学院大学経営学部教授の山本順一先生をお招きして講演会を実施した。演題は「Google、Kindle、iPad 時代の図書館と著作権制度」で、そうした時代を牽引していると言っていいだろう学生さんたちの関心は告知時から高かった。ご講演では、21世紀の高度情報通信社会における図書館と著作権制度の関係について、国際的な議論、動向をご紹介いただいたり、また日本で2009年に改正された著作権法の改正理由をお示しいただいたりして、わかりやすいお話をうかがえた。教室いっぱいに集まった約80名の私たちは、著作権について司書が知っておくべき、最新の基本的な知識を得ることができた。と同時に、山本先生は、インターネットの高度化によって、‘情報の自由な流通’と‘情報共有’を嚮導理念とする‘スーパーコピー社会’が深化拡大しているという見方から、著作権制度はこの‘スーパーコピー社会’との共生を確保する制度に設計変更されるべきだろうと問題提起をされていたと受けとめたが、それにより、皆に現在までの国内外の制度改革の動きを超えて、著作権というもののあり方の今後についてさらなる思索の必要性を示してくださったように思う。この講演会の記録は、〈特別講演会〉として、本誌に収載した。

今年の夏の東京地区図書館見学会は、８月25日（水）から26日（木）に実施した。中村の引率のもと、12名の学生が参加した。まず、８月25日（水）には、12：50に JR 山手線巣鴨駅に集合、13：00-14：30に福音館書店を見学した。同社の相談役で、本学卒業生の松居直さんのお話を私たちだけの小さなグループで聞くことができ、学生たちの感激は言葉にできないほどの様子であった。そのあと、また卒業生を頼って、渋沢栄一記念財団実業史研究情報センターを見学した。同情報センターのセンター長は、本学卒業生の小出いずみさんである。2009年に NPO 法人知的資源イニシアティブが主催する Library of the Year に選ばれ、『図書館雑誌』に記事が掲載されていたのを拝見して、訪問をお願いし、受け入れていただいた。同センターの、インターネット上での活動に、学生たちは大いに刺激を受けたようで、その日の夕食会ではそのことに刺激を受けての話題が多く出た。夜は、皆で水月ホテル鴎外荘に宿泊した。翌26日は、10時前にホテルのロビーに集合し、歩いて、国立国会図書館国際子ども図書館に向かった。見学のあと、長め自由時間をもって、各自が館内を自由に見学した。午後は、14時から国立国会図書館本館を見学した。２日目の午後であるにも関わらず、今年はシンプルに充実したスケジュールだったということか、学生さんたちの意欲も最後まで高く、質疑応答は最後まで途切れることがなかった。見学受け入れ館の皆さま、お忙しい中でのご丁寧なご対応

を、本当にありがとうございました。参加学生のうち２名の方から寄せていただいた記録を、「東京地区図書館見学記」として本誌に収載している。

（文責・中村百合子）

３．2010年度司書課程関係

・2010年度司書資格取得者：49人（学部生49人、院生０人）
・2011年度「図書館演習Ⅰ」登録者：78人
・2011年度「図書館演習Ⅱ」登録者：58人
・就職状況（正規職員）：３人（公共図書館）、大学院進学：１名